

地震・津波・火山噴火・集中豪雨・洪水

平成25年度 静岡県経営革新計画承認
平成26年度 静岡県トライアル発注推進事業選定商品



内閣府・防災推進協議会

防災用街角ラジオ ミーアキャット

自立型緊急放送受信拡声機

特許
取得済

FMラジオから
情報を得る

避難前・後の
情報収集に

戸別受信機・防災ラジオ
から情報を得る

防災行政無線子局の
補完に

FM放送受信型

戸別受信機・
防災ラジオ対応型

TYPE1.
ミーアキャット
ミニ

TYPE2.
ミーアキャット
スタンダード

TYPE3.
ミーアキャット
60

TYPE4.
ミーアキャット
ハンディ

ご利用環境により
各種タイプからお選びいただけます!!

ホームページでは動画で機能をご紹介します!

暁電工

検索

屋外にいる多くの人々へ「正確な情報」を伝えます!!

設置事例 ミーアキャット ミニ



屋外作業場所のある
津波避難ビルの屋上へ設置
清水コンテナターミナル株式会社様 (静岡県静岡市清水区)



敷地内にある一般の方も利用する
グラウンド、野球場等の付近へ設置
某下水道終末処理場様 (長野県)

設置事例 ミーアキャット 60



設置事例 ミーアキャット スタンダード



沿岸部の屋外作業場付近へ設置
東海埠頭株式会社様 (静岡県静岡市清水区)

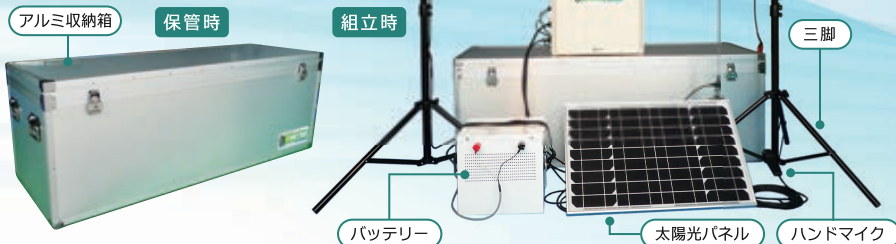


敷地内にある一般の方も利用する
グラウンド付近へ設置
某下水道浄化センター様 (高知県)

防災行政無線の難聴地区や未整備地区を補完するものとして町内の平地へ10基、
常時観測火山である那須岳の登山口駐車場にあるトイレへ1基(分割型)、
那須岳山腹の避難小屋へ1基(分割型)を設置
栃木県那須町役場様 (栃木県那須町)

ミーアキャット ハンディ

通常はアルミ収納箱の中に太陽光パネル・バッテリー・制御箱などの部品を収納して防災倉庫などへ保管しておき、災害時やイベントなどで使用する際に組立ててお使いいただくタイプです。様々な場所へ持ち運びができ、災害時だけでなく、イベントや地域行事など様々な場面でお使いいただけます。



● バッテリーと商用電源を兼用したハイブリッドタイプ

○電源はバッテリー (12V) と商用電源 (100V) を兼用しているため
停電時でも使用可能です。

● いつでも使用できる

- 災害時だけでなく、イベントや地域行事など様々な場面でお使いいただけます。
- 防災倉庫や避難場所に保管しておくことで、防災訓練などにも活用していただけます。
- 設置工事は不要です。様々な場所へ持ち運んで簡単に組立てることができます。

- ▶ 収納箱：(内寸法) H470mm×W1350mm×D450mm
- ▶ 重量：71kg
- ▶ 付属品：太陽光パネル 1枚、リチウムイオンバッテリー (12V100A) 1台、制御箱 1台、スピーカー 2台、三脚 2脚、受信用アンテナ 1本、ハンドマイク 1台、太陽光パネル固定用万力 2個、3.5mm-6.5mm変換ケーブル

本製品の仕様は性能・機能向上、及び使用部品の変更ににより予告なく変更を行う場合がございます。

● 正規特約店・販売店

● 製造・販売元
おもいやりを創造へ

株式会社 暁電工



東日本大震災から学んだこと

東日本大震災の際、すぐに欲しかったものは「正確な情報」でした。そのため、多くの人がラジオや防災行政無線から情報を入手していました。

災害が発生すると、携帯電話やスマートフォンでの情報収集は困難となります。停電になると電話やテレビも使えなくなり、ラジオや防災行政無線からの情報が重要となります。

しかし、停電になると多くのラジオは乾電池を電源として使用し、また、防災行政無線の多くは内蔵しているバッテリーで電源を賄うため、情報を流し続けることは不可能です。

情報は多くの人が聴き続けられることが望ましく、さらに危険はより多くの人に知らせる必要があります。

防災用街角ラジオ ミーアキャットとは

「防災用街角ラジオ ミーアキャット」は、太陽光発電とバッテリー駆動による独立蓄電方式を採用しているため災害で停電になっても作動し、災害発生時から被災状況の確認、避難するための正確な情報、災害地域のライフラインなどに関する情報を拡声放送し続けます。

緊急情報を迅速かつ確実に伝えることで素早い避難行動から減災効果が期待でき、屋外にいる多くの人々の「安心・安全」を支えることができる防災機器です。

FM放送受信型 戸別受信機・防災ラジオ対応型 の
2タイプに対応しています！



「防災製品等推奨品」

内閣府・防災推進協議会に所属する一般社団法人 防災安全協会の「防災製品等推奨品」に認定されました。
災害時に有効に活用でき、安全と認められる防災製品を推奨する制度です。

こんな場所への設置がおすすめです！



津波避難タワー・津波避難ビル・命山



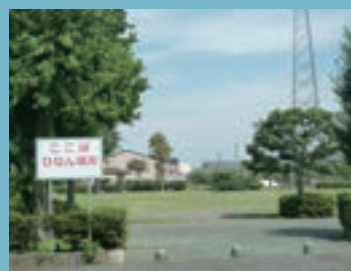
街 中



沿岸地域



ビル・商業施設の連絡通路



一時避難場所・収容避難所



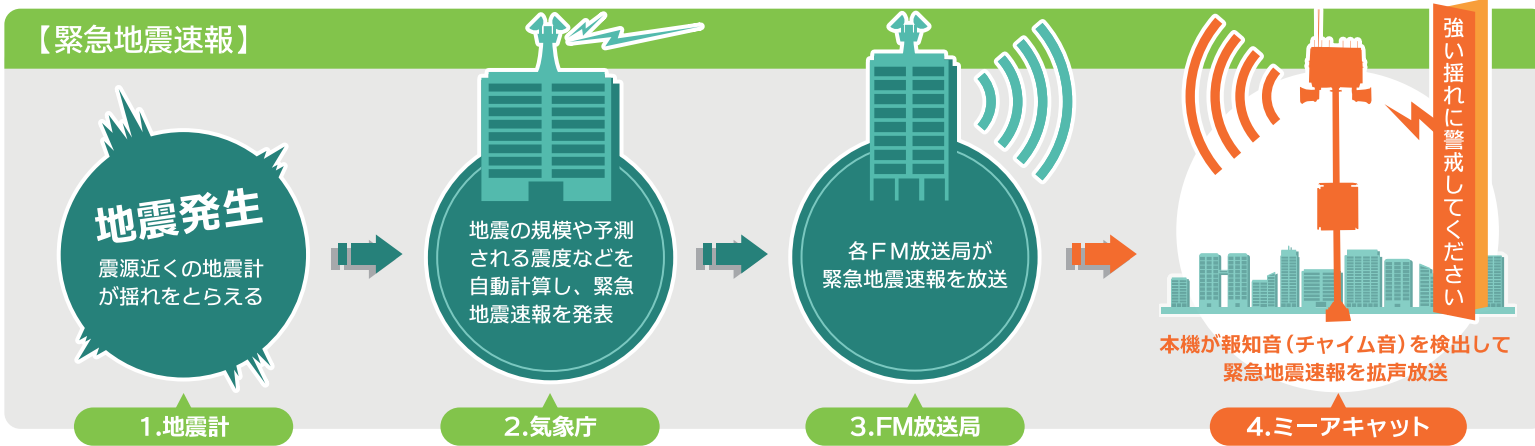
山頂・登山道



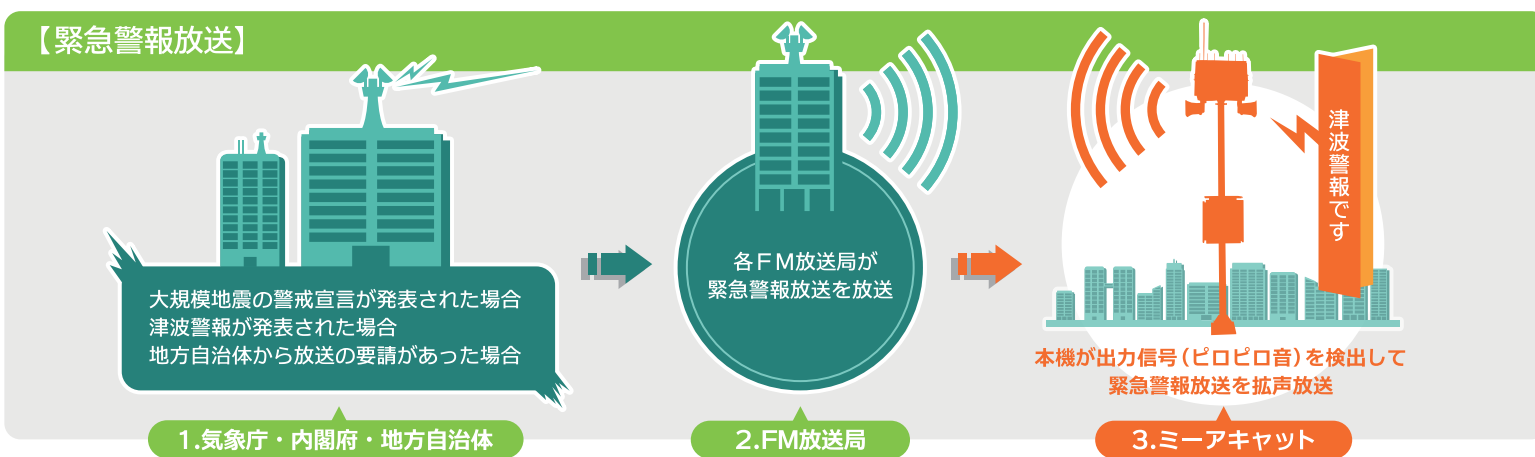
山小屋・避難小屋などの登山者が立ち寄る施設

FM放送受信型

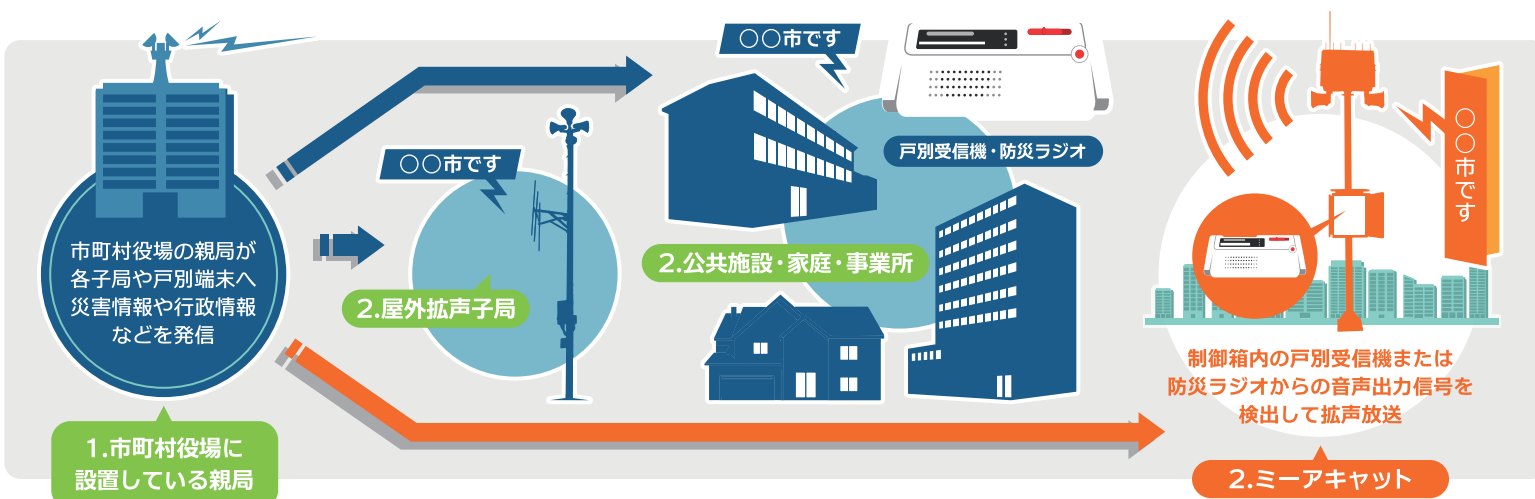
【緊急地震速報】



【緊急警報放送】



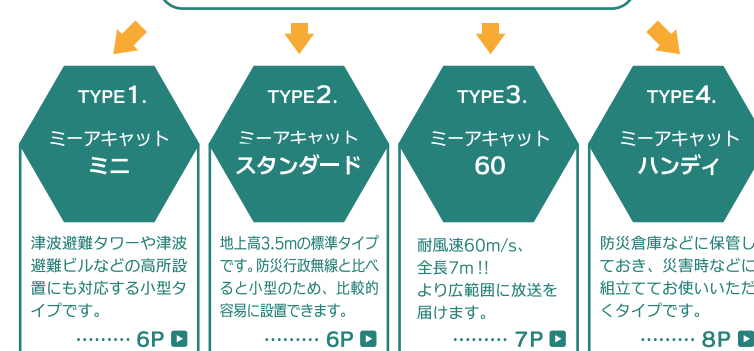
戸別受信機・防災ラジオ対応型



▼ ご利用環境により、以下のタイプからお選びいただけます!! ▼

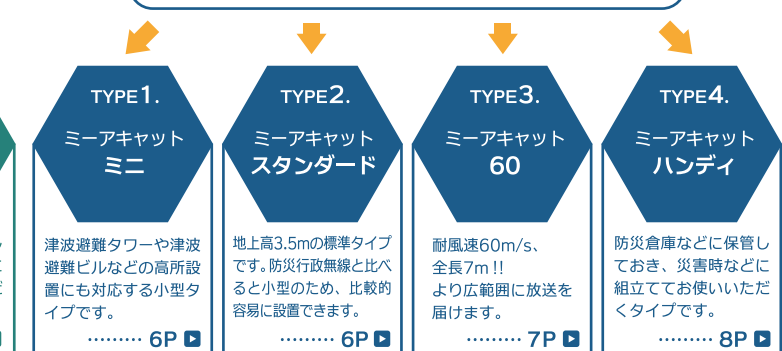
FMラジオから情報を得る

FM放送受信型 ……4P



戸別受信機・防災ラジオから情報を得る

戸別受信機・防災ラジオ対応型 ……5P



防災用街角ラジオミーアキャットの特徴

人々の安全を守る

FMラジオ放送や防災行政無線の電波が受信できる場所であれば緊急放送を受信し拡声放送することができ、すぐに避難行動を促せます。災害発生時の情報収集・伝達手段として役立ちます。

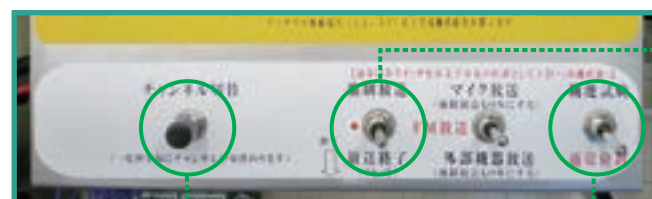
電源工事不要・電気代ゼロ円

太陽光発電とバッテリー駆動による独立蓄電方式を採用しています。昼間に太陽光で発電した電気を内蔵バッテリーに充電し、夜間や停電時の電力を補います。配線工事は不要で電源をとることができない場所でも設置できます。停電しても情報を流し続けることが可能です。※冬場の日照時間が7時間以上ある場所へ設置してください。

FM放送受信型

FM緊急地震速報・緊急警報放送発令時に自動で拡声放送

通常待機時はFMラジオ放送をミュートで受信しており、FM放送局の緊急地震速報の報知音（チャイム音）や緊急警報放送の出力信号（ピロピロ音）を検出すると自動的にミュート状態を解除してFMラジオ放送を拡声放送します。緊急地震速報は設定秒間（1～254秒）、緊急警報放送は終了信号を検出するまで拡声放送し続けます。※待機時に設定している放送局がNHKと同様の警報音を使用している場合に限りです。



FM強制放送スイッチ

強制放送スイッチをONにすることで、強制的にFMラジオ放送を聴取することが可能です。また、強制的にOFFにすることも可能です。



チャンネル切替スイッチ

FMラジオ放送局の切替が可能です。放送局は6チャンネルまで設定できます。



機能試験スイッチ

簡易機能試験が容易に行えます。



LEDランプ

扉部のLEDランプの点滅速度でFMラジオの受信状態が確認できます。



緊急信号接点

緊急地震速報、緊急警報放送受信時の外部接点を備えています。緊急放送発令時に外部機器を動作させることに利用できます。



録音・放送用インターフェース

録音再生機器（別途）を入力・出力端子に接続することで安否情報などのラジオ放送を録音・再生することが可能です。



ハンドマイク・スピーカ

制御箱内部にあるハンドマイクを利用して、拡声器として使用できます。ローカルエリアでの放送が可能です。防災倉庫などに保管されているハンドマイクと比較すると、より広範囲に情報を伝えることができます。



USB充電端子

USB機器の充電に利用できます。

外部入力端子(AUX端子)

音楽プレイヤーなどの外部機器を接続することにより、音楽などを流すことが可能です。イベントや地域行事、避難所でのラジオ体操などにも活用できます。



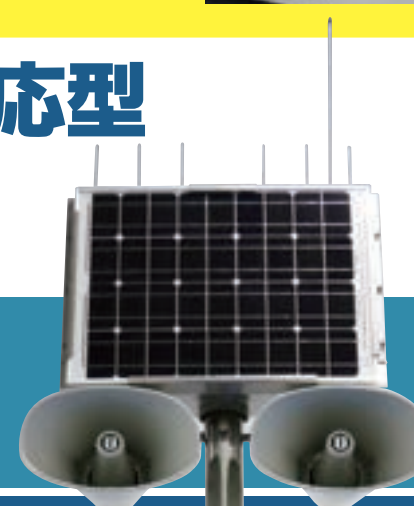
バッテリー量

バッテリー容量が減り電圧が11Vを切ると、制御箱基板部より警報音が鳴ります。バッテリーの容量不足や取替え時期の目安としていただけます。

戸別受信機・防災ラジオ対応型

防災行政無線の戸別受信機や防災ラジオを利用した拡声放送

防災行政無線の戸別受信機や防災ラジオ（ご支給品）を制御箱内に収納して使用します。市町村役場に設置されている親局から災害情報や行政情報等を発信すると制御箱内に収納された戸別受信機や防災ラジオからの音声出力信号を検出し、自動的に拡声放送します。屋外で防災行政無線と同様の放送を継続して聴取できます。



アナログ方式・デジタル方式を問わず、デジタル化後もご使用いただけます。

※制御箱内へ収納する戸別受信機・防災ラジオはアナログ方式・デジタル方式に対応した機器をご支給ください。



戸別受信機・防災ラジオ収納スペース



防災行政無線子局の補完に

防災行政無線の難聴地区や未整備地区を補完するものとしての設置が可能です。



戸別受信機・防災ラジオ（ご支給品） （参考）



外部アンテナ接続端子 と 音声出力端子または外部スピーカー接続端子 が

付いている機器であれば

メーカーを問わずご使用いただけます。

戸別受信機・防災ラジオの電圧は1.5V～9.6Vに対応しており、戸別受信機・防災ラジオへも給電する仕組みです。



AM・FMラジオ放送

AMラジオやFMラジオ（コミュニティFM含む）放送を聴取することが可能です。（戸別受信機または防災ラジオにAM・FMラジオ機能が付いている製品に限りです）



バッテリーはリチウムイオンバッテリーを使用！ 約10年間はメンテナンスフリーでご利用が可能です！！

※バッテリーは使用環境や使用頻度により性能や寿命が大きく変化します。上記はあくまでも目安であり、バッテリーの寿命を保証するものではありません。

自立型緊急放送受信拡声器

防災用街角ラジオ ミーアキャット ミニ・スタンダード

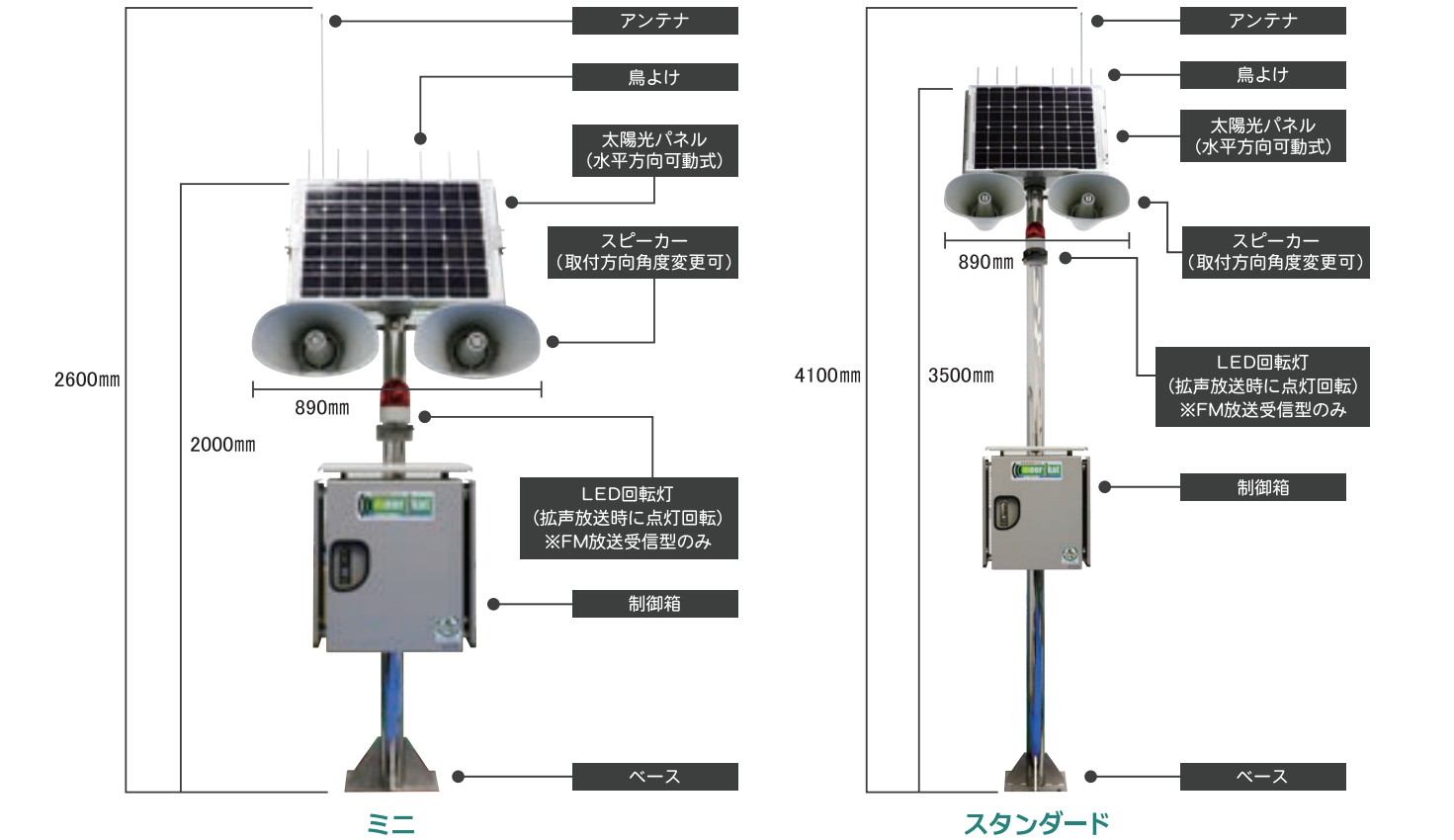
タイプ別早見表

	電源	アンプ 出力	スピーカー 入力	緊急地震速報 緊急警報放送	ハンドマイク	ラジオ放送	録音・放送用 インターフェース (入出力端子)	USB 充電端子	機能試験 スイッチ	緊急信号接点
FM放送受信型	太陽光発電 バッテリー	40W	20W×2台	○ ※1	○	FM	○	○	○	○
戸別受信機・ 防災ラジオ対応型	太陽光発電 バッテリー	40W	20W×2台	— ※2	○	AM・FM ※3	—	NEW ○	—	—

※1 待機時に設定している放送局がNHKと同様の警報音を使用している場合に限りま

※2 防災行政無線から放送されると戸別受信機または防災ラジオを通して放送されます。

※3 戸別受信機または防災ラジオにAM・FMラジオ機能が付いている製品に限りま



【機器仕様】FM放送受信型

全高	ミニ：2000mm（アンテナ含：2600mm） スタンダード：3500mm（アンテナ含：4100mm）	全幅	890mm	支柱外径	89.1mm
電源	太陽光発電＋バッテリー（鉛バッテリー：12V40A）	温度範囲	-15℃～40℃		
消費電力	待機時 0.1A / 拡声放送時 6A				
音圧レベル	107dB（1w/1m）[参考：50m離れた地点では73dB、100m離れた地点では67dB]				
制御箱	H547mm × W480mm × D290mm（遮熱板含む）	回転灯色	赤色		
塗装色	（5Y7/1）（制御箱のみ）	重量	ミニ：98kg スタンダード：109kg	材質	ステンレス製
ベース	寸法：300mm×300mm / 取付穴：220mm×220mm / 穴Φ20mm（適合ボルトM16） / 板厚：15mm ※アンカーフレーム同梱				

●冬場の日照時間が7時間以上ある場所へ設置してください。 ●FMラジオ放送が受信できない地域では設置することができません。

●バッテリーは消耗品となっております。使用環境や使用頻度にもよりますが、2年毎の交換をお勧めします。 ●FMラジオ放送（安否情報等）の録音及び再生には録音再生機器（別途）が必要となります。

●基礎工事またはアンカー工事等の設置工事（別途）が必要となります。 ●本製品の仕様は性能・機能向上、及び使用部品の変更等により予告なく変更を行う場合がございます。

【機器仕様】戸別受信機・防災ラジオ対応型

全高	ミニ：2000mm（アンテナ含：2600mm） スタンダード：3500mm（アンテナ含：4100mm）	全幅	890mm	支柱外径	89.1mm
電源	太陽光発電＋バッテリー（リチウムイオンバッテリー：12V100A）	温度範囲	-20℃～40℃		
消費電力	待機時 0.1A / 拡声放送時 6A（制御箱内へ収納する戸別受信機・防災ラジオにより異なります）				
音圧レベル	107dB（1w/1m）[参考：50m離れた地点では73dB、100m離れた地点では67dB]				
制御箱	H647mm × W580mm × D340mm（遮熱板含む）（機器収納スペース：H200mm × W250mm × D150mm）				
塗装色	（5Y7/1）（制御箱のみ）	重量	ミニ：128kg スタンダード：139kg	材質	ステンレス製
ベース	寸法：300mm×300mm / 取付穴：220mm×220mm / 穴Φ20mm（適合ボルトM16） / 板厚：15mm ※アンカーフレーム同梱				

●冬場の日照時間が7時間以上ある場所へ設置してください。 ●戸別受信機または防災ラジオが受信できない地域では設置することができません。

●戸別受信機または防災ラジオはご支給ください。 ●簡易型の受信拡声機のため、アンサーバック機能は付いておりません。

●戸別受信機または防災ラジオのグループ化やソフト変更（別途）が発生する場合がございます。導入されている防災行政無線メーカーへお問合せください。

●基礎工事またはアンカー工事等の設置工事（別途）が必要となります。 ●本製品の仕様は性能・機能向上、及び使用部品の変更等により予告なく変更を行う場合がございます。

自立型緊急放送受信拡声器

防災用街角ラジオ ミーアキャット 60

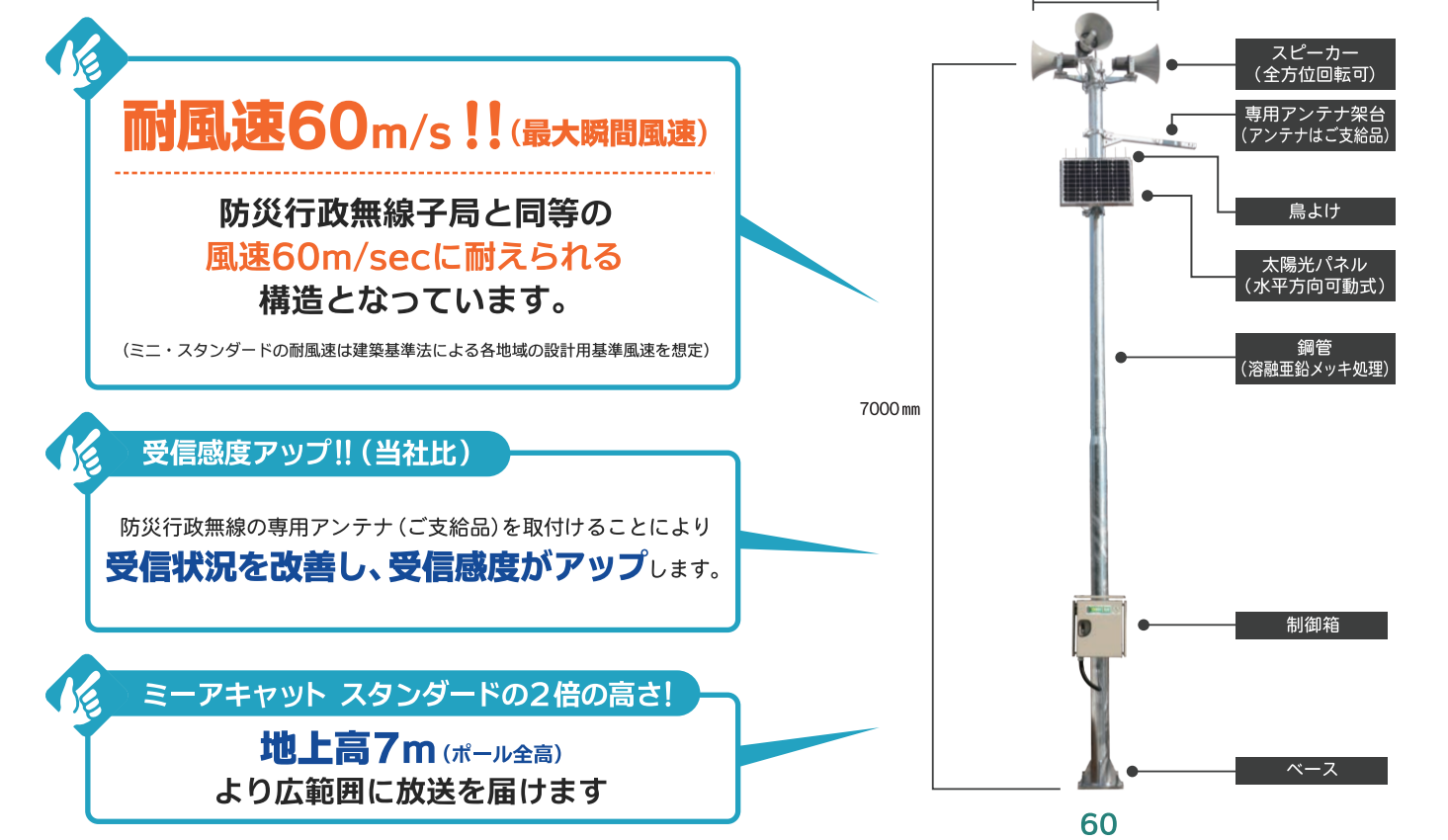
タイプ別早見表

	電源	アンプ 出力	スピーカー 入力	緊急地震速報 緊急警報放送	ハンドマイク	ラジオ放送	録音・放送用 インターフェース (入出力端子)	USB 充電端子	機能試験 スイッチ	緊急信号接点
FM放送受信型	太陽光発電 バッテリー	60W	20W×3台 または 30W×2台	○ ※1	○	FM	○	○	○	○
戸別受信機・ 防災ラジオ対応型	太陽光発電 バッテリー	60W	20W×3台 または 30W×2台	— ※2	○	AM・FM ※3	—	NEW ○	—	—

※1 待機時に設定している放送局がNHKと同様の警報音を使用している場合に限りま

※2 防災行政無線から放送されると戸別受信機または防災ラジオを通して放送されます。

※3 戸別受信機または防災ラジオにAM・FMラジオ機能が付いている製品に限りま



【機器仕様】FM放送受信型

全高	7000mm（ポール全高）	全幅	1205mm	支柱外径	139.8mm（上段）・165.2mm（下段）
電源	太陽光発電＋バッテリー（リチウムイオンバッテリー：12V100A）	温度範囲	-20℃～40℃		
消費電力	待機時 0.1A / 拡声放送時 9A				
音圧レベル	110dB（1w/1m）[参考：50m離れた地点では76dB、100m離れた地点では70dB]				
制御箱	H647mm × W580mm × D340mm（遮熱板含む）	回転灯色	赤色（オプション）		
塗装色	（5Y7/1）制御箱のみ	重量	287kg（ベース式）	材質	ステンレス製＋STK400
ベース	寸法：400mm×400mm / 取付穴：300mm×300mm / 穴Φ30mm（適合ボルトM24） / 板厚：22mm ※アンカーフレーム同梱				

●冬場の日照時間が7時間以上ある場所へ設置してください。 ●FMラジオ放送が受信できない地域では設置することができません。 ●防災行政無線の専用アンテナはご支給ください。

●FMラジオ放送（安否情報等）の録音及び再生には録音再生機器（別途）が必要となります。 ●基礎工事またはアンカー工事等の設置工事（別途）が必要となります。

●本製品の仕様は性能・機能向上、及び使用部品の変更等により予告なく変更を行う場合がございます。

【機器仕様】戸別受信機・防災ラジオ対応型

全高	7000mm（ポール全高）	全幅	1205mm	支柱外径	139.8mm（上段）・165.2mm（下段）
電源	太陽光発電＋バッテリー（リチウムイオンバッテリー：12V100A）	温度範囲	-20℃～40℃		
消費電力	待機時 0.1A / 拡声放送時 9A（制御箱内へ収納する戸別受信機・防災ラジオにより異なります）				
音圧レベル	110dB（1w/1m）[参考：50m離れた地点では76dB、100m離れた地点では70dB]				
制御箱	H647mm × W580mm × D340mm（遮熱板含む）（機器収納スペース：H200mm × W250mm × D150mm）				
塗装色	（5Y7/1）制御箱のみ	重量	287kg（ベース式）	材質	ステンレス製＋STK400
ベース	寸法：400mm×400mm / 取付穴：300mm×300mm / 穴Φ30mm（適合ボルトM24） / 板厚：22mm ※アンカーフレーム同梱				

●冬場の日照時間が7時間以上ある場所へ設置してください。 ●戸別受信機または防災ラジオが受信できない地域では設置することができません。

●戸別受信機または防災ラジオ・防災行政無線の専用アンテナはご支給ください。 ●簡易型の受信拡声機のため、アンサーバック機能は付いておりません。

●戸別受信機または防災ラジオのグループ化やソフト変更（別途）が発生する場合がございます。導入されている防災行政無線メーカーへお問合せください。

●基礎工事またはアンカー工事等の設置工事（別途）が必要となります。 ●本製品の仕様は性能・機能向上、及び使用部品の変更等により予告なく変更を行う場合がございます。